別紙1 事務事業評価(中間評価)シート【平成29年度】

主管課名(担当名)		教育総務課(学校教育担当)						
事務事業名		学力向上対策事業			事業番号	12406		
重点プロジェクト	■該当			■中間 □事後	事務区分	■自治 □法定受託		

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-3 義務教育の充実
	施策目標	確かな学力を身につけ豊かな人間性を育むまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人 や団体など	市内小中学校生徒児童(市街地地区及び歯舞地区)					
N 1 3 5	対象者の今後の予想	增加傾向					
活動内容	市内小中学校(北斗小・花咲小・成央小・光洋中・柏陵中・啓雲中・歯舞中)に補助教員を配置し、						
(事業の概要や具体的な内 容、方法など)	ティームティーチング、少人数指導、習熟度別指導、放課後や長期休業中の補習を行う。また、独自の学習ドリルの配布や、学校ごとの課題に応じた学力対策を講じるための補助金を交付する。						
意 図 (どの様な成果を得ようとして いるのか)	当市における学力は著しく低く、基礎学力の底上げを図ることが喫緊の課題であることから、「根室 市確かな学力向上に関する取組方針」を核として児童生徒の学力向上を図る。						

3 事務事業の現状

3 事務事業の現状									
活動指標名		計画値 (H27)		実績値				目標値	目標値
	A POST DE LA		H27	H28	H29	H30	H31	(H32)	(H37)
1	学力向上等対策補助金の交付学校 数	1校	1校	1校	1校			15校	15校
2	学力向上等補助教員の配置数	7校	3校	7校	3校			7校	7校
3									
4									
	古类类 (一下到内部)	L		H29 [:]	H29予算 H29決算			H30予算	
	事業費(=下記内訳計)				24,735	14,793		26,037	
	国道支出金								
内 地方債									
訳	その他				75	75 53		26,037	
	一般財源				24,660		14,740		
人員(人工)				0.08		0.08		0.08	
職員人件費(=人員(人工)×7,696千円)			616 616		616				
総事業費 (=事業費+職員人件費)			25,351 15,409		15,409	9 26,653			
単位コスト実績値 1 (=総事業費÷成果実績値)				25,351 15,409		15,409	9		
単位コスト実績値 2 (=総事業費÷成果実績値)				8,450		5,136			

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題	について記入)
見直し状況	■検討中 □見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない □検討していない
見直しの内容など	3カ年方針「根室市確かな学力向上に関する取組方針」を評価・検証した結果、補助教員の配置については高評価であったが、年度途中での離職や欠員が生じている現状では、学力向上にも効果を発揮できないことから、待遇面での改善が必要と考える。 また、学力向上等対策補助金については、取組方針の改訂に伴い、教職員の指導力向上を目的とした補助金への転換を検討中である。
今後の動向・市民ニーズなど	学校現場からの補助教員配置要望が強く、市民意識調査でも教育内容の充実は重要項目第3位で ある。
5 事務事業の評価	
	■結びついている □一部結びついている □結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結 ア. びついていますか	TT指導や習熟度別指導などによるきめ細かな指導を行うことができ、基礎学力の向上に一定の効果がある。
	□可能 □一部可能 ■不可能
市以外がその事業に取り イ. 組むことは可能ですか (民間、NPO等)	教職員定数は、児童生徒数に伴う学級数から割り当てられており、道による正規教職員の配置は困 難であり、市独自での配置以外に方法はない。
	□ある ■一部ある □ない
ウ. 事業内容の中で、見直し ウ. を行う必要はありますか	学力向上対策事業全体の見直しを行った結果、学力向上等補助教員では待遇面での見直し、学力 向上等対策補助金は拡充を検討している。
	□ある □一部ある ■ない
単位コストまたは事業費 エ. を工夫できるアイデアは ありますか	主な事業費は人件費である。
	□ある □一部ある ■ない
オ. 他の事業との統合につい オ. て可能性がありますか	類似する事業はない。
	□ある □検討の必要性がある ■ない □既に負担がある
受益者に負担をいただく カ. (又は負担を見直す)可 能性はありますか	義務教育は、個人の所有物に属する経費以外は、無償が原則であることから、児童生徒が授業料 等を負担することは、憲法上できない。
6 事務事業の今後の方	<u> </u>
今後の方向性	□現状のまま継続 ■見直しのうえで継続 (■拡充 □手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替) □終期設定あり (H 年度末終了予定) □休止 □廃止 □完了

別紙1 事務事業評価(中間評価)シート【平成29年度】

主管課名(担当名)		教育総務課(学校教育担当)						
事務事業名		ふるさと給食事業			事業番号	12692		
重点プロジェクト	口該当	■非該当	評価時期	■中間 □事後	事務区分	■自治 □法定受託		

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-3 義務教育の充実
	施策目標	確かな学力を身につけ豊かな人間性を育むまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人 や団体など						
v.; sav	対象者の今後の予想 減少傾向						
活動内容	ᆹᆒᆂᄥᄼᅜᄜᆝᄼᆝᇰᅎᄼᆘᅅᇫᇬᄗᆟᇹᆓᄧᆉᄼᄼᇦᅠᄱᆕᅷᄥᅼᅑᄼᅅᄼᄼᄼᅛᆝᄫᄜᅀ						
(事業の概要や具体的な内容、方法など)	地場産物を活用した「ふるさと給食の日」を実施するため、根室市学校給食協会に対し補助金を交付する。						
意 図							
(どの様な成果を得ようとして いるのか)	児童生徒の地場産物への理解や	·関心を深めるとともに、地場産物の利用拡大を図る。					

3 事務事業の現状

3 争務争耒の現状									
活動指標名		計画値 (H28)			実績値	目標値	目標値		
	7 - 20 TH PK H		H27	H28	H29	H30	H31	(H32)	(H37)
1	地場産物について興味をもったと答 えた児童生徒の割合	60.0%		-	-			70.0%	80.0%
2									
3									
4									
	東学典 /一下和内和電	L		H29予算 H29決算		決算	H30予算		
事業費(=下記内訳計)			6,800		6,723		6,800		
	国道支出金								
内地方債									
訳その他			6,800 6,723		6,723	6,800			
一般財源									
人員(人工)			0.08		0.08	0.08			
職員人件費 (=人員(人工)×7,696千円)			616 61		616	616			
総事業費 (=事業費+職員人件費)				7,416		7,339		7,416	
単位コスト実績値 1 (=総事業費÷成果実績値)					_		_		
単位コスト実績値 2 (=総事業費÷成果実績値)									

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題	について記入)						
見直し状況	■検討中 □見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない □検討していない						
見直しの内容など	地場産物に理解・関心を深めている様子はあまり感じられず、児童生徒にとっては、いつもより美味 しい給食が食べられる程度の認識である。また、海産物等の地場産物を提供できる施設・設備が 整っていないことが地場産物を提供できない原因でもあり、給食調理場の整備等、根本的な課題解 決が最優先と考えていることから、今後2年間の効果を検証し、事業の継続について判断したい。						
今後の動向・市民ニーズなど	アンケート調査の内容に不備があり、活動指標を図れていないため、今年度のアンケート調査により 児童生徒のニーズを把握したい。						
5 事務事業の評価							
	□結びついている ■一部結びついている □結びついていない						
ア. 意図する成果に有効に結 ア. びついていますか	児童生徒の地場産物への理解を深めることには至っていないが、これまで使用できなかった地場産 物の消費拡大には繋がっている。						
	□可能 □一部可能 ■不可能						
市以外がその事業に取り イ. 組むことは可能ですか (民間、NPO等)	市以外が取り組む必要性が無い。						
	■ある □一部ある □ない						
ウ 事業内容の中で、見直し ウ を行う必要はありますか	事業の継続について見直しを行う予定。						
	■ある □一部ある □ない						
単位コストまたは事業費 エ. を工夫できるアイデアは ありますか	ふるさと給食の日(全4回)の開催を減らす。						
	□ある □一部ある ■ない						
オ. 他の事業との統合につい オ. て可能性がありますか	他に類似する事業はない。						
	□ある □検討の必要性がある ■ない □既に負担がある						
受益者に負担をいただく カ. (又は負担を見直す)可 能性はありますか	受益者負担の必要は無いため。						
6 事務事業の今後の方	句性						
今後の方向性	□現状のまま継続■見直しのうえで継続(□拡充 ■手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替)□終期設定あり(H 年度末終了予定)□休止□廃止□完了						